

# 令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【つばさ小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 前学年以前の内容を問う問題の正答率が低い。 <指導上の課題> 児童が既習事項を振り返ったり、反復や習熟に取り組む時間の設定が不十分である。	・「ドリルパーク」等を活用し、現学年以前の内容も含め、漢字や基本的な計算等の反復・習熟に取り組む。業前のモジュール学習を活用する。【月に2回以上】 ⇒ ・系統性を意識した指導及び学習のために、「ドリルパーク」等を活用し、既習事項の定着状況やレディネスを確認する機会を設定する。【学期に2回以上】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語の「B書くこと」の問題やその他の教科の文章表現型の問題で正答率が低い、自己の考えや表現についてメタ認知し、自己調整する力が弱い。 <指導上の課題> 児童が自己の考え・表現について、評価基準や他者の考え・表現を参照しながら振り返り、見直す機会が不十分である。	・問題解決型の学習過程や、ルーブリック等を活用した評価基準の共有・明確化と振り返りを取り入れた授業を行う。【学期に2回(単元)以上】 ⇒ ・さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を前年度より向上させるために、話し合いの他、1人1台端末を活用した共同編集や他者参照の機会を設定し、協働的な学びを通して考えたり、表現したりすることができるようにする【週に1回以上】。

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

①結果分析(管理職・学年主任等)  
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)